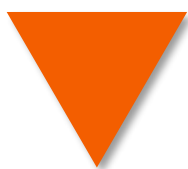


# JINNOHARU 2024



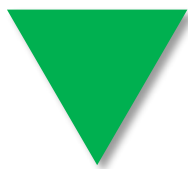
JR陣原駅

## 陣原地区 第一次

### ふくしのまちづくり計画

---

みんなが安心・安全に  
住み続けられる  
ふくしのまちづくり



# 2028

## ごあいさつ

陣原地区の皆様には、日頃から社会福祉協議会の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

この度16名の策定委員と八幡西区社会福祉協議会のご尽力をいただき、私たちのまち陣原地区のふくしのまちづくり計画ができあがりました。策定にあたり陣原の良いところを再発見できた一方で多くの課題が見つかりました。

その課題の解決に取り組み、基本理念である「みんなが安心・安全で住み続けられるふくしのまちづくり」を目指します。そして5年後の陣原に、見守り、支えあい、誰も置き去りにしないふくしのまちづくりが広がっていることを心から願います。

地区の皆様のお手元にはこの計画の概要版をお届けいたします。どうぞ手に取って目を通していただければ幸いです。

今後とも陣原地区社会福祉協議会の活動にお力添えをお願い申し上げます。

令和6(2024)年3月



陣原地区社会福祉協議会  
会長 吉野 ヤス子

## もくじ

第1章 計画策定にあたって	1
1 計画の性格	
2 計画の期間	
3 計画の策定経過	
第2章 陣原地区の現状と課題	2
1 地域の特性	
2 地域の福祉課題	
第3章 計画体系	3
1 基本理念	
2 基本目標	
3 目標とする事業（体系図）	
4 重点実施項目	
第4章 計画の推進	7
1 地域への計画の承認と周知	
2 計画を推進するための体制	
3 第二次計画の策定	
参考資料	8
1 策定委員会委員名簿	
2 策定委員会での協議事項	



### 1 計画の性格

#### (1) 住民発信の行動計画

この計画は、陣原地区の様々な福祉課題を解決するために、既存の活動を活かしながら、住民や民間団体が将来の見通しを持って計画的に活動しようとするための民間の行動計画です。

#### (2) 小地域の生活を支える計画

この計画は、陣原地区に住む人たちの「生活」を支えることを活動の原点とする計画です。

#### (3) 北九州市及び市・区社会福祉協議会と協働する計画

この計画は、北九州市の「地域福祉計画」及び北九州市・区社会福祉協議会が中心となって策定した「地域福祉活動計画」と整合性を図りながら地域福祉活動を進めていく計画です。

#### (4) 陣原地区社会福祉協議会の活動指針となる計画

この計画は、社会福祉協議会が地域福祉活動の中核的な団体として多様な団体と連携を図りながら地域福祉を推進するために今後の活動方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有しています。

### 2 計画の期間

令和6(2024)年度～令和10(2028)年度までの5カ年とします。ただし、計画期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直しを行います。

### 3 計画の策定経過

陣原地区では、地域福祉活動に取り組んでいる関係機関・団体等からの意見を踏まえ、既存の活動を活かしながら、民間の地域福祉に関する計画を策定するため、陣原地区小地域福祉活動計画策定委員会を設置し、陣原地区「小地域福祉活動計画」を策定しました。



## 第2章 陣原地区の現状と課題

### 1 地域の特性

住民基本台帳による

	平成 15(2003)年 9 月 30 日	平成 25(2013)年 9 月 30 日	令和 5 年(2023)年 9 月 30 日
世帯数	2,394 世帯	3,073 世帯	3,270 世帯
人口	5,361 人	6,082 人	5,700 人
14 歳以下	696 人(13.0%)	765 人(12.6%)	573 人(10.1%)
65 歳以上	1,042 人(19.4%)	1,332 人(21.9%)	1,509 人(26.5%)

小学校	穴生小学校、折尾東小学校、青山小学校、赤坂小学校	活動拠点	陣原市民センター 陣原公民館
中学校	折尾中学校	包括支援センター	西 3

陣原地区は八幡西区の西北部に位置し、北は金山川、西は瀬板の森公園、南は国道 3 号線を境とし、東は青山校区と隣接しています。夕原町周辺は工業団地。令和 5 年には陣原駅南側にスーパーができ、現在はマンションや病院の建設が進んでいます。今後は人の流れが大きく変わっていくと思われています。

### 2 地域の福祉課題（及び小地域福祉活動の課題）

#### ●世帯数は増えているが、人々の地域への関心が薄い

JR 駅周辺の環境が大きく変わり世帯は増えていますが、高齢化率は上昇し、一人暮らしの世帯も増えています。

地域への愛着や関心の薄い住民、マンションが多く住民同士のつながりが出来にくい地域もあります。

#### ●多世代が交流する場が少ない

年間を通じて様々な地域行事が行われていますが、若い世代の参加が少ないのが現状です。

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、子どもたちやその保護者世代が高齢者と出会い交流する場が減って、挨拶を交わしたり声をかけ合ったりすることも少なくなっています。

#### ●生活する上でのちょっとした困りごとが増えている

元気な高齢者やボランティア精神の豊かな人がたくさんいる一方で、近くに頼れる人がいない人や一人で出かけることが難しくなっている人も増えています。

ちょっとした困りごとを気軽に相談したり、頼んだりできるしくみづくりが必要になっています。





陣原地区では、地域共生社会の実現に向けて、子どもから高齢者まで、誰もが住み慣れたところで安心して生活できるまちにしたいと願い、基本理念と基本目標、具体的な取組みを定めました。

## 1 基本理念

「みんなが安心・安全に住み続けられるふくしのまちづくり」

## 2 基本目標

### (1) 目指せ！元気な100歳（健康）

陣原地区では市民センターや公民館での交流事業がさかんに行われています。また、老人クラブの行事も数多く開催されています。

今後はコロナ禍で中断・縮小した取組みを様々な工夫で復活していこうと考えています。今まで参加できなかった方も、みんなで一緒に元気な100歳を目指しましょう。

### (2) お互いに見守りながら楽しくふれあおう（見守り）

現在は、福祉協力員が民生委員・児童委員と協力し、高齢者の見守り活動を行っています。老人クラブの見守り活動も活発です。今後は訪問して声かけを行うだけでなく、交流の場を増やししながら近所の住民同士でお互いに見守り合い、気になることがあればつなぐ地域づくりが重要です。

### (3) 支えたり支えられたり地域友好の輪（助け合い）

陣原地区では「ちょこっと応援隊」の募集が始まり、困りごと相談室を開設する準備をしています。誰もができることを少しずつ出し合い助け合って地域友好の輪を広げていきます。

### (4) 魅力ある地域行事で人を育てよう（人づくり）

陣原地区にはたくさんの地域行事があります。これまで参加しなかった人にも参加してもらえるようにみんなでアイデアを出し合い、さらに魅力ある行事にして、新しい発見や出会いの場にしていきます。

ちょっとしたお手伝いができる人を少しずつ増やして、伝統行事を一緒に守って行きましょう。



### 3 目標とする事業（体系図）





<b>【基本理念】</b> み ふん くな しが の安 ま心 ち・ づ安 く全 りに 住み 続け られる	基本目標	5年間で実施する取り組み
	<b>目指せ！ 元気な100歳 （健康）</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民センター・公民館での講座</li> <li>・ 老人クラブの交流（月例会・同好会）</li> <li>・ ニュースポーツ三世代交流 （グラウンドゴルフ等）</li> <li>・ サロン等の居場所づくり</li> <li>・ ラジオ体操</li> <li>・ 歩こう会</li> <li>・ ウォーキング</li> </ul>
	<b>お互いに見守りながら 楽しく ふれあおう （見守り）</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子ども登下校見守り</li> <li>・ 福祉協力員による見守り活動 （「お元気ですか」の活用）</li> <li>・ 防犯パトロール</li> <li>・ 老人クラブ友愛訪問活動</li> <li>・ まち美化運動（参加者呼びかけ）</li> <li>・ 公園愛護会活動</li> </ul>
	<b>支えたり 支えられたり 地域友好の輪 （助け合い）</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>新</b> 陣原ちょこっと応援隊 （困りごと相談室開設）</li> <li>・ 避難支援のしくみづくり</li> <li>・ ボランティア勧誘チラシの発行</li> <li>・ 買い物支援 （移動販売等）</li> </ul>
	<b>魅力ある 地域行事で 人を育てよう （人づくり）</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 神社祭り（夏・秋）</li> <li>・ 活用品バザー・フリーマーケットの開催</li> <li>・ 物産展・お祭り・イベント</li> <li>・ ふれあいまつり</li> <li>・ 青少年育成会の拡充</li> <li>・ 子ども向け体験行事</li> <li>・ 保護者参加型子ども行事</li> <li>・ 地域行事への住民の参加を増員する</li> <li>・ 壮・青年世代を巻き込んだ取り組み</li> <li>・ 伝統行事 （子どもが参加・体験することでシビックプ ライドの醸成）</li> </ul>



## 4 重点実施項目

今回定めた基本目標を達成するために、特に関係機関・団体と連携して重点的に進めていく事業を「重点実施項目」と定め、次のことを推進していきます。

重点実施項目		支えたり支えられたり 陣原ちょこっと応援隊の推進					
1 課題背景及び地域の現状							
<p>現在は4人に1人が65歳以上の高齢者ですが、地域には元気な人、ボランティア精神の豊かな人がたくさんいます。様々な地域行事で顔を合わせる機会も多く、お互いに気にかけることができている。</p> <p>5年後は約4人に1人が70歳以上になります。令和5年度に実施した「困りごと・悩みごとに関するアンケート調査」では約4割の人が「困りごとがある」と回答しています。その多様な「困りごと」を支援するための「陣原ちょこっと応援隊」の募集が始まりました。</p>							
2 活動の方針・目標							
<p>住み慣れた場所で安心して暮らし続けたい！この願いをみんなで実現していくために、困りごとを抱えた住民の相談を受け付け、「ちょこっと応援隊」の活動につないだり、関係機関や専門職と連携したりして、その困りごとを解決していきます。</p>							
3 段階的な取組みの年次計画							
取組み内容	連携する機関	R6	R7	R8	R9	R10	備考
相談窓口の開設	民生・児童委員 自治区会 まち協 老人クラブ 市民センター 地域内企業	●					陣原公民館 月・水・木曜日 13:00～17:00
ちょこっと応援隊 隊員募集		→			目標40名 欠員は、随時募集		趣味や特技を活かして活躍してくれる人材の発掘
広報活動 (事業の定着)		→					陣原新聞や市民センターだより、会報かめやま(老人クラブ)等の活用
隊員及び相談員の 研修・情報交換会		→	→	→	→	→	研修：年1回 情報交換会：年2回
見守り訪問活動による 困りごとの把握	福祉協力員 民生・児童委員 友愛訪問員 地域生活相談員 応援隊隊員	→					ふれあいネットワーク活動や亀山会と連携して相談窓口につなぐ
応援隊による 生活支援活動		→					LINEを活用したマッチングの検討
地域資源の把握	地区社協 地域生活相談員 自治区会 まち協	→					シルバー人材・企業、社会福祉施設・事業所、ボランティア団体等

重点実施項目	未来につながる人材発掘						
1 課題背景及び地域の現状							
昔から続いている楽しい地域行事が盛んで、居心地のよい公園や市民センターもあり、交流の場の多い地域です。一方で様々な理由で行事に出てこられない人、地域への関心が薄い人もいます。地区社協や福祉協力員、民生委員・児童委員、老人クラブ、自治区会・町内会がよく連携し活動も活発ですがいつものメンバーだけでは大変になっているのが現状です。							
2 活動の方針・目標							
今ある魅力ある地域行事をもっと多くの人に知ってもらう取り組みを進めます。施設や商店などとの新たなつながりをつくると共に、多くの世代が活動に関わるきっかけを増やして、みんなが生き生きと輝く地域を目指します。訪問活動を拡充するためにも、あまり形にこだわらず、のびのびとした発想を大切にしながら、新たな人材の確保を目指します。							
3 段階的な取組みの年次計画							
取組み内容	連携する機関	R6	R7	R8	R9	R10	備考
広報特別チームの発足と掲示板の活用	町内会 老人クラブ 自治区会 地域内企業 市民センター	●					掲示板、新聞、広報紙、SNS等で活動内容やメリット発信 転入者へも情報発信
行事ボランティアの募集	自治区会 市民センター 老人クラブ						行事ごとにちょっとしたお手伝いができる人を、具体的な活動内容を示して、広く募集
様々な三世交代イベントの企画・実施	自治区会 老人クラブ 市民センター						デイキャンプ ニュースポーツ大会 歴史研究会 フリーマーケット 親子未来会議等 お楽しみポイント制も検討
同世代活動・行事の企画・実施	自治区会 市民センター						おやじの会 ママとも会等 参加者同士のつながりを深める
子どもたちの地域活動体験	民生・児童委員 老人クラブ 地域内企業						見守り・訪問活動、ボランティア活動、施設、店舗でのお仕事体験等
次世代リーダーの育成	自治区会 老人クラブ 民生・児童委員				●	●	リーダー講習会





### 1 地域への計画の承認と周知

計画を推進していくために、既存の地域活動と連携を図りながら、以下の計画の広報活動を行います。

- ① 地区社会福祉協議会総会等を通じた活動者への計画の承認と周知
- ② 計画の実施項目を進めていく上での関係機関団体への周知協力依頼
- ③ 計画書概要版の配布などを通じた地区住民への周知等

### 2 計画を推進するための体制

#### (1) 小地域福祉活動計画推進委員会の設置

計画を推進していくために、「陣原地区小地域福祉活動計画推進委員会」を設置し、計画の進行管理等について、委員会で協議を進めていきます。

- ① 関係機関団体との連携
- ② 計画内容の具体的な実施方法
- ③ 進行管理の実施

#### (2) 計画の進行管理

「陣原地区小地域福祉活動計画推進委員会」を年度に数回程度開催します。(当年度の事業推進の確認、年度内における中間確認、次年度の事業確認、また必要に応じて開催)

委員会では、各団体との連携を図りながら、計画内の各実施項目の進捗状況を把握し、うまく進行していない場合にはその原因を明らかにし、問題への対策を立て、その対応策を実施します。

#### (3) 計画の評価

計画期間の中間時点(2026年度)では計画全体の中間見直しを、最終年度(2028年度)には総括評価を行います。

### 3 第二次計画の策定

第一次計画の推進状況を踏まえて、第二次計画の策定期間には新しく計画策定委員会を設置し、計画策定に向けて協議を進めていきます。

## 参考資料 【陣原地区小地域福祉活動計画の策定経過】

### 1 陣原地区小地域福祉活動計画策定委員会委員名簿

	氏名	所属団体	役職
1	吉野 ヤス子	陣原地区社会福祉協議会	会長
2	後藤 芳子	陣原地区社会福祉協議会	副会長・地域生活相談員
3	重岡 洋	陣原地区老人クラブ連合会	会長
4	秋吉 泰志	陣原地区まちづくり協議会	会長
5	長野 美和	陣原市民センター	館長
6	市川 君代	陣原地区ふれあいネットワーク	事務局
7	堂園 郁子	陣原地区社会福祉協議会	会計
8	福田 邦子	陣原地区民生委員児童委員協議会	会長
9	堀川 和子	ふれあいネットワークAブロック	Aブロック長
10	本田 美由紀	ふれあいネットワークBブロック	Bブロック長
11	後藤 鈴香	ふれあいネットワークCブロック	Cブロック長
12	三好 健吾	ふれあいネットワークDブロック	Dブロック長
13	貴島 和久	マックスバリュー陣原店	店長
14	野田 聡	グループホームのぞみ	管理者
15	吉原 紀子	陣原地区社会福祉協議会	地域生活支援相談員
16	永留 千春	陣原地区社会福祉協議会	地域生活支援相談員

### 2 陣原地区小地域福祉活動計画策定委員会での協議事項

回	開催日	主な協議事項
1	R4年 7月 22日(金)	計画策定における説明会
2	R5年 7月 28日(金)	地域の困りごと課題を共有する
3	R5年 9月 22日(金)	既存活動の洗い出し、内容を体系的に整理
4	R5年 10月 27日(金)	基本計画(体系図)について打ち合わせ
5	R5年 11月 24日(金)	基本計画を全員でチェック、重点実施項目について話し合い
6	R6年 1月 26日(金)	重点実施項目を設定
7	R6年 2月 16日(金)	計画書・概要版の編集作業
8	R6年 3月 8日(金)	計画書・概要版の最終確認



.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

社会福祉協議会のイメージキャラクター  
プチボザウルス Petit vo saurus



Petit (プチ：ちっちゃな)  
Volunteer (ボランティア)  
Saurus (サウルス≡恐竜)



陣原地区社会福祉協議会

〒807-0821 北九州市八幡西区陣原 3-23-9-101 陣原市民センター内  
TEL 093-641-0177 FAX 093-641-0178

八幡西区社会福祉協議会

〒806-8510 北九州市八幡西区黒崎 3-15-3 コムシティ 6階  
TEL 093-642-5035 FAX 093-642-5077

北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町 1-6 ウェルとばた内  
(代表) TEL 093-882-4401 FAX 093-882-3579  
(地域福祉部) TEL 093-882-4425 FAX 093-873-1351

